
のび太のバイオハザードにいる男

電撃部隊総隊長

タテ書き小説ネット Byヒナプロジェクト

<http://pdfnovels.net/>

注意事項

このPDFファイルは「小説家になろう」で掲載中の小説を「タテ書き小説ネット」のシステムが自動的にPDF化させたものです。この小説の著作権は小説の作者にあります。そのため、作者または「小説家になろう」および「タテ書き小説ネット」を運営するヒナプロジェクトに無断でこのPDFファイル及び小説を、引用の範囲を超える形で転載、改変、再配布、販売することを一切禁止致します。小説の紹介や個人用途での印刷および保存はご自由にどうぞ。

【小説タイトル】

のび太のバイオハザードにいる男

【Nコード】

N5050X

【作者名】

電撃部隊総隊長

【あらすじ】

初めて書く作品です
長い目でみてください
駄文の可能性大

挨拶（前書き）

挨拶は、本文です

挨拶

初めまして

電撃部隊総隊長ですこれは初めて書く作品です

いろいろあるけどお願いします

誤字などがありますけど頑張っていこうと思いますそれからいろいろな作品を読んでいるのでいろいろ拝借いたします。を入れ忘れるかもしれないけれども見捨てないでください

これからよろしくお願いしますそれからオリジナルキャラクターを募集します！

じゃんじゃんお願いしますじゃんじゃんお願いしますじゃんじゃん
お願いします

応援よろしくお願いします

挨拶（後書き）

最後方ミスをしています

第1話 地獄の始まり（前書き）

最新作です
どうぞ

第1話 地獄の始まり

糞どうなっていやる。

なんでゾンビがいるんだ。

(ここは、日本だろ日本だよって誰か言ってくれ)

()の中は、心の叫びです声でもいいんだけどおかしい人になるんだよねまいつか

ハクシヨン

「何か大事な物を失うような気がする。

まあそれは、後回しだ

今までのことを思い出そう」

俺の名前は桐生槇一

高校生だ。

学校からの帰り道にトラックにぶつかったのまでは、覚えている。

あつ死んだなっ思ったでも痛みがこないから目を開けてみたんだそしたら見覚えの無い所にいたんだ。

そして外に出たら今になった

「冷静になるんだ俺落ち着いてパニック状態になったら死と思え。

よし落ち着いた。

あれ、ここ日本だ看板日本語だから

んススキが原どっかできたことがあるな何処だっけまいつかここが日本だと分かっただけでも充分だ。」きずくの遅いな大丈夫かなこの人主人公でまっなんとかなるだろう。

きずくの遅いな大丈夫かなこの人主人公でまっなんとかなるだろう。

「何か酷い事言われた気がしたしかも2回も何か心が傷ついた」

ゾンビ

「あーあー」

「うるさいな！！考え中なのに…ゾンビじゃんしかも囲まれかけているじゃん逃げないと。」

あそこに建物がある逃げ込め」

バタンカチャカチャ

「よしセーフ

何か武器があるかな」

あつた物

鉄パイプ 1

ハンドガン

拳銃 1

ハンドガン

弾 30

以上

まっ最初の方だからこれでいいだろう

「なんでハンドガンがあるんだよ日本だろここバイオハザードじゃないか」

変な所だけ鋭いよね。

「どうやってハンドガンで撃つのかな、クリスどうやって撃つていたか教えてくれ」

鉄パイプ使えよ

「あつ鉄パイプあるじゃんこれで殴って殺せる！

んっ奥に扉がある逃げ込んだときには、きずかなかった見落とす方だったあぶないあぶない

よし行くか。」

続く

第1話 地獄の始まり（後書き）

めっちゃめっちゃ疲れているのでいろいろ拝借した

第2話初戦闘と出会い（前書き）

久しぶりの更新

（祝）1000字突破

第2話初戦闘と出会い

バン

「路地裏か、ここから逃げられそうだな。」

ゾンビ「あーあー」

「うるせー！！さっきは、逃げたけど今は、鉄パイプがあるもう逃げない行くぞー」

バツカ

頭の割れる音

「へ？」

頭割れるだ鉄パイプで殴って、初めて知ったよ。

鉄パイプ最高ー

このまま行くぜー

かかってこいやー。」

ドガバキバツカドン

ゾンビが殴られる音

「よしここは、終わり次行くぜ」

そして路地裏を進んで行き、ゾンビに会ったら殺して進んでいった。

そして路地裏の出口

「ん？出口か、ゾンビ20体ぐらい倒したなあ。

鉄パイプが血まみれだ新しいのを探さないとなあ。」

まっなんとかなるだろう、どこにいくのかな？」バン

「でかい道に出たなん？」

あれは、学校かな？

まあ行ってみるか」

そして学校校庭

「なんかいるぞ」

それは、人喰らうゾンビ犬

「犬か、だがまだきずいていない！
いまが、チャンス行くぜー。」

犬がきずく前に鉄パイプを使って殴った。

「キャイイン」

犬を倒した

「ゾンビ犬か、確かバイオハザードにもいたなあ。きずく前で、良かった。」

そして学校の中へ、

「とりあえず近くの部屋に入るか。」

ガラガラガラ

??「なんだ！」

??2「ゾンビ？」

??3「ママー」

ここから書き方を変えていきます。

桐生槇一（これから桐生）：俺は、人間だ！

??：驚いたぜ。

??2：良かったわ

??3：まだ生きている人がいたんだ

桐生：まあ最初は、自己紹介でもしよう俺は桐生槇一

よろしく

??：俺は、剛田武だ、ジャイヤンでもいいぜ

??2：私は、源 静、静でいいわ。

??3：僕は、骨川 スネ夫 よろしく

桐生：あなたは、

??：桜井 咲夜よろしくね。

??：山田太郎です

??：金田 正宗様だ

桐生：（なにいつているんだこいつ）

??：俺は、健治だ

??：安雄だ。

桐生：まあよろしく

ガラガラガラ

全員：誰だ

??：皆

ジャイヤン スネ夫 静 安雄：のび太

のび太：良かった無事で

ジャイヤン：お前みたいに、のろくないから当たり前だ。

静：良かったわ。

スネ夫：のろまなお前が、よく助かったな。

のび太：あなたは、

桐生：桐生槇一だ、よろしく。

そして各自自己紹介などをした。

ジャイヤン：これからどうしようか？

スネ夫：どうしよう

桐生：まずは、武器と、食料を集めよう。

咲夜：それは、いい案ね。私は、賛成よ
ジャイヤン：それじゃあそれでいけう
続く

第2話初戦闘と出会い（後書き）

お前は、好きな映画は、ダイ・バードです!!
今日曜洋画劇場で、やっているの観てね!!

第3話 チームわけ（前書き）

祝1500字突破

100アクセス突破

最新話をどうぞ

第3話 チームわけ

スネ夫：じゃあ誰が外に行くの、
ジャイヤン：俺とお前だよ。

スネ夫：え〜！

ジャイヤン：ほら行くぞ

スネ夫：嫌だ〜。

ジャイヤン：なんかいったか？

スネ夫：なにも。

桐生：ああ外に行くなら、煙草と酒を持ってきてくれ。

煙草は、ありったけ持ってきてくれ。

あと酒は、山崎と、焼酎を持ってきてくれ。

スネ夫：桐生さん酒を飲むんですか？

桐生：ああちよつとはな

金田：私には、黒ビール

会社は、エビスで頼む

桐生：金田趣味渋

金田：黒は、私（神）に相應しい

ガラガラガラ

全員：誰だ！

のび太：出来杉！

出来杉：皆！良かった生きていて。

そして色々あって、こうなった

ジャイヤンチーム

ジャイヤン

スネ夫

静チーム

静

咲夜

出来杉チーム

出来杉

安雄

健治チーム

健治

太郎

桐生チーム

桐生

のび太

居残りチーム

金田

そして担当場所

ジャイヤンチーム

武器と食料

静チーム

ハープなど

出来杉チーム

探索

桐生チーム

探索

居残りチーム

見張り

ジャイヤン：それじゃ行きますか

桐生：待て 連絡用の携帯を持ちにいこう

スネ夫：何処に？

桐生：職員室には、先生の携帯があるだろう

そこで登録すればいい

スネ夫：なるほど

ジャイヤン：それじゃあ、さっそく行きますか。

そして職員室

桐生：携帯持ったか？

全員：はい！！

桐生：メアド交換

全員：はい！！

桐生：それじゃあ解散

全員：イエッサー

そしてのび太チーム

のび太：桐生さん、銃の使い方が分からないんですか？

桐生：ああ全く持って分らない

のび太：それじゃあ教えてあげますよ

桐生：すまないなあ

そして桐生は、銃の使い方を覚えた

作者：やっとかよ

桐生：ん？

のび太：桐生さん

桐生：なんか聞こえたような

ゾンビ：あーあー

のび太：あつゾンビ

桐生：さっそく、こいつの出番がきたか

のび太：僕は、一体を、もう二体を頼みます

桐生：分かった

バン パン ビチャ

のび太：ヘッドショット

桐生さん

バンバン ビチャ

桐生：オラア

ドガバキバツカドン

ビチャ

桐生：近距離戦の方が楽だな

のび太：へ？

桐生：どうしたのび太、間抜け面して。

のび太：桐生さん今ゾンビを殴っていましたよね。

桐生：ああ

のび太：人間ですか

ゾンビを殴るなんて！

桐生：大丈夫だ鉄パイプあるし

のび太：そういう問題じゃないでしょ

桐生：案外楽だぜ

のび太：それは、桐生さんだけですよ

桐生：弾の節約にもなるし

一石二鳥じゃん

でも、そろそろ鉄パイプじゃ駄目かな

ジャイヤンにも何か武器を頼むか

ブルルルル ガチャ

ジャイヤン：何ですか桐生さん

桐生：接近戦用の武器を持ってきてくれ

ジャイヤン：分かりました、何がいいですか

桐生：斧か、鉈を頼む

ジャイヤン：分かりました

スネ夫：何だった

ジャイヤン：桐生さんに武器を頼まれた

スネ夫：ふーん

そしてそれを眺める者

？：ふっ

何者なんだこいつ

その頃学校では、

桐生チームが、武器の弾を見つけていた

桐生：のび太何かあったか

のび太：弾がありました

桐生：こっちもだ

手に入れた物

ハンドガンの弾 100

ショットガンの弾 50

ライフルの弾 20

鉄バット

桐生：なかなかの収穫だな

のび太：そうですね

桐生：近距離戦用の武器も見つけたし

そろそろ戻るか

のび太：そうしますか、ジャイヤンも戻って来ると思いますし

？：うわー

桐生：誰かが、叫んでいる助けに行くぞのび太！

のび太：イエッサー

これからどうなるのか！

続く

それと、オリキャラ募集中ですので、色々送ってくださいねえ
PS 主人公を近距離戦にするか、遠距離戦にするかを皆さんで
決めてくださいお願いします

第3話 チームわけ（後書き）

いい映画のコーナーです

今日は、猿の惑星 ジェネシスです！！

面白いです！！

映画慣れしている俺が、見入ってしまう程面白いですからね
あの映画のテーマは、家族だと俺は思います！！
皆さん是非とも観て下さいね。

第4話 バイオゲラス現る（前書き）

2000字突破

ユニーク50突破

最新話をどうぞ

第4話 バイオゲラス現る

桐生：急ぐぞのび太

のび太：イエッサー

桐生：何で、イエッサー何だよ
のび太：ノリです

桐生：真面目に走るぞ！

そして体育館にたどり着いた。

桐生：出木杉大丈夫か？

出木杉：大丈夫じゃないですよ！

のび太：なんだこいつは

桐生：どうしたのび太 何なんだ

出木杉：こいつが急にあらわれて

桐生：のび太出木杉を頼む

そいつの相手を俺がする

のび太：無理ですよ桐生さん

桐生：のび太任せたぜ

うおー

のび太：分かりました！

そして桐生？巨大カメレオンの闘いが始まった

巨大カメレオンの舌の攻撃をよけて鉄バットで攻撃

桐生：オラア

ガン

桐生：硬いな

オラア

ガン

チツ 無理か

んっ？

あれは、何だ

そこに、有ったのは、尖った棒

（あれをあいつの目にぶち込めば）

それを取りに行こうとしたら

巨大力メレオン：ガア

桐生：チツ

そう簡単には、いかないか

巨大力メレオン：ガア

パシユ パシユ

桐生：舌のリーチが長い分、不利か

パシユ パシユ

桐生：チツ あの手が取れれば勝ちなのにそう簡単には、いかないか

パシユ パシユ

桐生：きつくなってきたな

パシユ

桐生：今だ

巨大カメレオンの舌に鉄バットを振る

巨大カメレオン：ガア

桐生：よし今のうちに

そして桐生は、尖った棒を持ち、巨大カメレオンに向かっていった
喰らいやがれ

巨大カメレオン：ゴォ

桐生：怒ってんじゃねえ！
オラァ

棒を巨大カメレオンの目に刺した

巨大カメレオン：ギァ

ドゴーン

巨大カメレオンは体育館の壁を破って出て行った

桐生：よし終わり

体育館を出て行こうとしたら

桐生：何か光ってる

警備員の死体から鍵を取り出した

桐生：何の鍵だ

まあいい、のび太と合流しなくては、

そして桐生は、体育館を後にした

のび太：桐生さん、巨大カメレオンは

桐生：あいつなら、体育館から出て行った

のび太：逃げたんですか

桐生：ああ、目玉を刺したら、一目散にな

のび太：目玉を刺したって、巨大カメレオンのを刺すなんて人間ですか！

桐生：まだ人間だ

のび太、出木杉はどうした

のび太：出木杉なら、さつきゾンビが来たときはぐれました

桐生：ならさがさないとな

のび太：はい

そしてのび太と桐生は、出木杉を探している時ジャイヤン達は、武器を選んでいた

ジャイヤン：これいいんじゃない

スネ夫：ショトガンか、いいねえ

これもいいんじゃない

ジャイヤン：なんだ

スネ夫：マシンピストルだよ

ジャイヤン：いいんじゃないね

スネ夫：こんなものでいいかな

ジャイヤン：後は、桐生さんに頼まれた武器だけか

スネ夫：近距離戦用の武器ってねえ

ジャイヤン：近距離の方が弾とかの節約になって楽だぜ

スネ夫：僕は、無理だよ

ジャイヤン：まあ無理なら言わねえけどよ

スネ夫：ジャイヤン

これならいいんじゃない

ジャイヤン：ヌンチャクと、トンファーか、後は鉈ぐらいかな

スネ夫：鉈ってねえ首でも飛ばすのかな

ジャイヤン：それくらいしか使い道ないよな

スネ夫：ジャイヤン鉈あつたよ

ジャイヤン：それくらいにして、一度戻るぞ

スネ夫：分かった

そんな会話されている時桐生達は

桐生：出木杉！

のび太：何処に居る

出木杉：うわー！！

桐生：今の声は、出木杉

のび太：家庭科室からです

桐生：急ぐぞのび太

のび太：イエッサー

出木杉：来るな

桐生：オラア

ドガ！！

ゾンビ：ぐあ

桐生：オラア

バキドガゴキ

ゾンビ：あー

桐生：終わり

大丈夫か出木杉

出木杉：大丈夫です

桐生さん助けてくれてありがとうございます

桐生：いいって

仲間だろ

のび太：桐生さん速すぎ

桐生：のび太のろのろしてるな

出木杉：桐生さん今素手でゾンビを倒してましたか？

桐生：ああ問題でもあるか？

出木杉：ありまくりですよ

桐生：まあ気にするな

出木杉：でも

のび太：止めとけ出木杉

あの人に、常識は通用しない

桐生：このロッカーに何かのバッテリーが入っている

のび太：ちょっとこい

のび太：ハイ

桐生：のび太小さい方のバッテリーを持て、俺は大きいバッテリーを持っていく

のび太：分かりました

モンハンの最終決戦

が流れていると思ってください

のび太：誰の携帯だ桐生：俺のか
はい誰だ

ジャイヤン：桐生さん

収穫があつたので一度戻ります

のび太にも伝えといてくださいお願いします

桐生：分かった

出木杉にも伝えといてやるよ

ジャイヤン：ありがとうございます

桐生：俺からも、大事な情報を手に入れたからちようどいい

ジャイヤン：それじゃあ保健室で会いましょう

桐生：分かった

のび太、出木杉一度保健室に戻るぞ

のび太出木杉：分かりました

桐生：出木杉、ハンドガンの弾が足りないんだろ、俺のをやるよ

出木杉：ありがとうございます

桐生：いいってきにするな

続く

第4話 バイオゲラス現る（後書き）

今日のいい映画コーナーは、お休みします

第五話 乱入者現る（前書き）

2500字突破

アクセス500突破

ユニーク150突破

遅れてすみませんでした
最新話をどうぞ

第五話 乱入者現る

保健室

桐生：各自の収獲を発表したまえ

ジャイヤン：俺達は、これだ

ショトガン？ 2

マシンピストル

ハンドガン？ 2

鉈

ヌンチャク

斧

ハンドガンの弾

マシンピストルの弾

ショトガンの弾

ジャイヤン：以上

桐生：なかなかだな

ジャイヤン：ありがとうございます

桐生：次

静香：私は、これです

グリーンハーブ？ 5

レッドハーブ？ 2

ブルーハーブ？ 2

止血剤？ 5

静香：以上よ

桐生：次

金田：その戸棚の鍵を開けといてやった

桐生：次は、出木杉

出木杉：僕は、これかな

鍵？2

出木杉：以上だよ

桐生：俺は、バッテリーを拾った

それと安雄が行方不明になった以上だ

全員：えっ

桐生：それとスネ夫頼んだ物は

スネ夫：はい黒ビール

金田：待っていた

桐生：どうかん

プシュ　ゴクゴク

プッハー

金田　桐生：旨い

のび太：桐生さん

巨大カメレオンの事はどうするんですか

桐生：忘れてた

健治は、何を見つけてきた

健治：ああ俺は、

ハンドガンの弾？2

以上だ

桐生：後巨大カメレオンを見つけた、体育館から出て行ったから、
今は、何処にいるかわからない

桐生のび太以外：えーーーーー

桐生：うるさい

巨大カメレオンの目玉には、尖った棒が刺さっているからすぐ分かると思うけど気をつけるあいつは、硬い、いまの火力じゃあいつの皮膚には、たいしたダメージを与える事は、出来ないからジャイヤンチーム街へ、行き火力の強い武器を見つけてこい

出木杉は、この鍵を使って、防火シャターを開けてこい

静香チームは、俺達と同じ、学校の探索だ、以上

全員分かったか

全員：イエッサー

のび太：健治チームは、どうするんですか？

桐生：健治チームは、学校内の見回りだ

分かったか？

健治：イエッサー

桐生：俺は、金田と話しがあるからのび太、出木杉の援護をしてやれのび太：イエッサー

桐生：それとジャイヤン、ヌンチャクを貸せ

ジャイヤン：どうぞ桐生さん

桐生：ほれ、バット

バットをわたした

ジャイヤン：ありがとう

桐生：頑張れよ

ガラガラ

ジャイヤンチームは、街に向かっていった

静香チームと、健治チームは、学校内の探索に、向かっていった

出木杉とのび太は、防火シャターをあけにいった

金田：桐生

桐生：なんだ

金田：私に、銃をくれないか

桐生：ほら

金田：ハンドガンか

桐生：無いよりはましだろ

金田：そうだな

桐生：もう一杯やるか

金田：あたりまえだ

桐生：ふっ

プシュゴクゴクプツハー

金田桐生：旨い

桐生が金田と一杯やっている時
のび太達は

出木杉：巨大カメレオンは、桐生さん一人で闘ったのか
のび太：そうだよ

出木杉：しかし、あいつに棒なんて刺さっていたかなあ
のび太：それは、桐生さんが刺したのだよ

出木杉：何だって

のび太：あの人だんだん人間離れしてきたんだよね

出木杉：ゾンビを素手で倒してるんだしおかしいよな
のび太：あの人、本当は人間じゃないかも

出木杉：確かに人間離れしてるけどあの方は人間だよ
のび太：あつこの部屋だな。

頼むよ出木杉

出木杉：分かった

カチャ ピー

出木杉：やったよ

のび太：後は、戻るだけか

ガシャン

キメラ：キシヤ

のび太：なんだ

パリン

出木杉：出て行つた

のび太：桐生さんに報告しないと

のび太達が防火シャッターをあけにいった時ジャイヤンチームは

ジャイヤン：火力のある武器って何がある

スネ夫：グレネードランチャー

ジャイヤン：他には

スネ夫：さあ

桐生さんに聞いてみれば

ジャイヤン：そうだな

モンハンの最終決戦が流れている

桐生：私だ

ジャイヤン：桐生さん

火力のある武器って何ですか

桐生：ガトリング　マグナム　ロケットランチャー　機関銃　など
色々あるぜ

ジャイヤン：へー

桐生：まっできればマグナムがいいな

ジャイヤン：分かりました

桐生：じゃあ頑張れよ

ジャイヤン：はい

ジャイヤン：頑張るぞ

スネ夫：マグナムでも色々種類があるぜ

ジャイヤン：頑張るぞ

SIDE：とある部隊

隊員：隊長

総員出撃準備完了しました

隊長：よし出撃

隊員：イエッサー

隊長：俺の武器を取れ

隊員：スパローショット　ライサnderF　ゴリアース99

をどうぞ

隊長：やはり慣れ親しんだ相棒の方がやりやすいな

隊員：総員へりで隊長を待っているので速く

隊長：分かった

隊員：隊長とまた闘えるなんて夢みたいです

隊長：俺もだよ

隊長：この任務の目的を答える

隊員：テロリスト達の殲滅です

隊長：敵の数は

隊員：100

隊長：まあまあかな

ウォーミングアップにはなるかな

隊員：隊長がいれば楽勝です

隊長：最近は、楽しんでないから楽しみだよ

インベーターも殲滅したしな

隊員：そうですね

隊長：テロリスト達ごときに、我が精鋭特殊部隊を使うなんて

隊員：テロリスト達は、インベーターの兵器を使っらしい、この事です

隊長：ふっ

インベーターの兵器を使うなんて

E D Fの幹部の連中、公開してるんじゃないのか

隊員：それは、ないはずですよ

世界規模での秘密ですから

隊長：街で破壊していたけど、秘密どころじゃあねえだろ

隊員：そうですね

隊長：まあいいけど

ところで我が精鋭特殊部隊の人数は

隊員：30名です

隊長：久しぶりにあいつらに、会えるな

隊員：皆楽しみにしてましたよ

隊長：そろそろかな

そしてヘリの中

隊長：それではE D F精鋭特殊部隊
出撃する

隊員達：オー

そしてヘリは離陸した

バラバラバラバラ

（こんな音だっけ
電撃より）

S I D E：保健室

桐生：はあー

金田：グガァー

桐生：つぶれたか

まああんだけ飲んでいたら

つぶれると思っていたよ

まあちよとの間寝かしといてやるか

ガラガラ

のび太：桐生さん

出木杉：終わりましたよ

桐生：それじゃあいくかね

のび太：はい

出木杉：行きましょう

そして桐生達は、二階に向かった

続く

P S

200字が1日の目安です

10話を超えたら300字にする予定です

第五話 乱入者現る（後書き）

EDFは、最強の部隊になるかも

PDF小説ネット発足にあたって

PDF小説ネット（現、タテ書き小説ネット）は2007年、ルビ対応の縦書き小説をインターネット上で配布するという目的の基、小説家になろうの子サイトとして誕生しました。ケータイ小説が流行し、最近では横書きの書籍も誕生しており、既存書籍の電子出版など一部を除きインターネット関連に横書きという考えが定着しようとしています。そんな中、誰もが簡単にPDF形式の小説を作成、公開できるようにしたのがこのPDF小説ネットです。インターネット発の縦書き小説を思う存分、堪能^{たんのう}してください。

この小説の詳細については以下のURLをご覧ください。
<http://ncode.syosetu.com/n5050x/>

のび太のバイオハザードにいる男

2011年11月20日20時24分発行